

令和3年度第2回練馬区立美術館運営協議会 要録

日時：令和4年3月23日（水）午後2時

場所：サンライフ練馬3階研修室

出席委員 高橋幸次会長、島田紘一呂副会長
伊豆井秀一委員、佐藤康宏委員、島田紀夫委員、内藤正人委員、
馬淵明子委員、小泉純二委員、しもだ玲委員、沢村信太郎委員、
土屋としひろ委員、齋藤宜子委員、畑智江子委員、吉田巴蔵委員
区職員 小金井地域文化部長、稲永文化・生涯学習課長

会 長： 本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。
ただいまから、令和3年度第2回練馬区立美術館運営協議会を開催いたします。

新型コロナウイルス感染防止に鑑み、今回の会議は接触機会の低減のため、内容を精査したうえで、1時間以内を目途に会議を終了したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

はじめに、小金井地域文化部長よりご挨拶いただきます。

部 長： 第2回運営協議会ということで、今年度の展覧会や運営状況についてご報告をいたします。昨年度に比べて休館日数も少なく、企画展についても、一部にはコロナの影響を受けていますが、入館者数は昨年度より伸びてきています。他の美術館にも言えることかもしれませんが、こういった閉塞感の中で、待ちに待った展覧会ということかもしれません。様々なご意見をお願いしたいと思います。

また、今回で第18期の委員の任期が終了いたします。前回引き続きのお願いをいたしましたところ、快くお引き受けいただき、ありがとうございました。来期もどうぞよろしくお願いいたします。

会 長： ありがとうございました。
それでは、議事に入る前に、委員の出席状況について、事務局から報告してください。

課 長： 本日は、委員3名から欠席のご連絡がありました。今期委員は17名、現在14名の出席でございます。従いまして、美術館運営協議会条例第7条第2項の規定により、本日の協議会は成立いたしました。なお、傍聴希望者はありません。以上ご報告いたします。

会 長： ありがとうございました。
はじめに、本日の議事の進行についてお諮りいたします。
次第の審議事項1、「令和4年度事業計画（案）」から、順次、事務局より説明を受け、議題ごとに質問等を受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

＜異議なしの声＞

会 長： それでは、「令和4年度事業計画（案）」について説明をお願いします。

館 長： ＜「令和4年度事業計画（案）」について説明…館長、担当学芸員、課長＞

会 長： 「令和4年度事業計画（案）」について、質問等がありましたらお願いします。

委 員： 企画展の観覧者見込数についてですが、どのような設定基準で、1日あたりの人数を算出しているのでしょうか。

館 長： これまでの展覧会の実績を基にし、展覧会の内容・傾向によっておおよその予想がつきます。目標として予想よりも多めの人数に設定しております。

委 員： ありがとうございます。目標を高く設定することは良いことだと思いますし、先ほども入館者が昨年度に比べて増えているとの話もありました。このまま入館者が増えていくと良いと思います。
また、コレクション展を開催するようですが、コレクション展以外に7,000点以上ある収蔵品の利活用は、どのようにしているのでしょうか。

館 長： 令和4年度は4月10日から6月12日まで有料のコレクション展「時代を映す絵画たち」を開催予定です。また、11月18日から2月12日に開催する「冬のコレクション」展が収蔵品を活用した展覧会となります。例年2回程度コレクション展を開催しております。
コレクション展は計125日程度となりますので、比較的コレクション展に日数を割いている方だと思います。コレクションは7,000点以上ありますが、テーマを決めて順次ご紹介しています。
また、教育普及事業の中でもコレクションを紹介するプログラムがあります。直接鑑賞する場合もありますし、収蔵品作品カードを利用して、芸術的な価値を伝えていくという活動もしております。

委 員： ありがとうございました。

会 長： 他にありませんでしょうか。

委 員： 先ほど託児サービスの実施についての説明がありましたが、詳しく説明をお願いいたします。

事務局： 美術館として子育て世代に対してどのような支援ができるか検討し、図書館で既に行っている託児サービスを美術館も一緒に行うことができないかと考えました。図書館では毎月何回か、時間・定員を決めて託児サービスを実施しています。図書館へ依頼し、定員10名のうち4名まで美術館で美術鑑賞をしている方も利用できるようにしました。お子さんを預けて2時間程度美術館で鑑賞

ができる託児サービスは、令和3年度に初めて実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、なかなか順調に実施できないところではあります
が、今年度は1回、来年度も引き続き実施する予定です。

委員：ありがとうございます。最近の新聞で「美術館に赤ちゃん連れはNG?」という記事が掲載されていました。練馬区立美術館は、赤ちゃんと一緒に観るということについて、どのようにお考えでしょうか。また、監視員は、赤ちゃんと一緒に来館された方にどのような対応をとっているのでしょうか。

事務局：赤ちゃんと一緒に来館される方もいらっしゃいます。ベビーカーはお預かりし、抱っこして鑑賞していただくことをお勧めしています。親の顔が見えると赤ちゃんも安心して泣かないと言われているからです。赤ちゃん連れをお断りするようなことはありません。

委員：ありがとうございました。監視員への指導はどのようにしているのでしょうか。

事務局：監視員の研修は必ず実施するよう、委託先に依頼しています。また、できるだけ経験者を配置し、丁寧な対応をお願いしています。今年度、職員の接遇に関する満足度調査の数値は上がっており、成果も上がっていると考えています。

会長：他にありませんでしょうか。

委員：赤ちゃんを連れての美術館鑑賞については、重い問題と思っています。個人的には、周りに迷惑にならない程度なら話をしても良いと思いますし、親が子どもに小声で教えたりするのは問題ないと思っています。ところが、静寂を好まれる方もおられ、監視員へクレームを言われることがあります。これについては、文化全体の問題だと思っています。美術品を楽しく見ながら、適度な範囲でちょっとした会話をするということが許される社会を創っていかねばならないと思います。ではどうすれば良いか、というのは非常に難しい問題で、美術館によっては子どもと一緒に鑑賞できる日を設けたりしていますが、日程が決められているため、来館できるとは限りません。そのため、美術関係者が全体で議論したり、理解を得るようにしたり、いろいろなことをやっていく必要があると思います。もちろん、託児サービスも広く利用できるようなといいと思います。

館長：美術館の再整備に向けて、託児サービスも含め実験をしている段階でもあります。

新しい美術館は、さらにいろいろな世代の方や、いろいろな興味関心がある方ができるだけ平等に楽しんでいただけるような美術館にしようとしています。小さいお子さんが一緒でも肩身の狭い思いをせずに鑑賞できるような空間を作っていきたいと思っています。

先ほどの委員の方のご意見にも鑑賞者文化というのがありましたが、多様な方が一緒に鑑賞していてもお互い楽しめるような鑑賞の仕方を提案していくとい

うのが、練馬区立美術館のような生活に近い美術館には必要なのかなと思っています。

会 長：美術館で工夫していただき、敷居の高くない開かれた美術館になると良いと思っています。
私からも質問させていただきます。吉野石膏コレクション展で展示予定の貴重書とはなんのでしょうか。

学芸員：17・16世紀の細密画、細密画の貴重書、羊皮紙に書かれた祈祷書、また、19世紀のアーティストが作った豪華本と呼ばれるものなどです。

館 長：練馬区立美術館は印刷芸術を定番として展示しているところがあり、版画等も展示する予定です。オリジナルの作品だけではなく、印刷されたものを練馬区立美術館としてどう扱うかということも考えながら展示する予定です。

会 長：いろいろな切り口で展覧会を開催していただいているので、楽しみにしています。

委 員：先ほどの説明で、「開かれた美術館」というお話がありましたが、8年前に図書館でも同じようなことがあり、いろいろな方、特に子育て世帯の方が楽しめるような、賑わいを生み出せるような施設にしていくべきではないかという提案をしました。美術館もそのような流れになっていくと良いと思います。様々な運用での工夫で、実現可能と思いますので、ぜひお願いしたいと思います。例年開催している中学校生徒作品展・小学校連合同工展について、今年度は中止だったとのことですが、これらの展覧会は、親子で来館することが多いと思います。せっかく家族で来館しているので、家族で楽しめるワークショップをこの時期に合わせて開催していただくというのは、今後考えていただけますでしょうか。

館 長：展覧会の主催が美術館ではないので、主催者とのやりとりとなると思いますが、できるものはできるだけやっていきたいと思っています。

学芸員：教育委員会の展覧会のため、すぐに実施というのは難しいと思いますが、同時開催のコレクション展に合わせてイベントを行うということは考えております。コロナ前には、何年か連続で、小学校連合同工展の土日に当日申し込み可能な口ビーで開催するワークショップを開催し、同工展にいらした方に参加していただいたこともありました。コロナ以降は当日申し込みでの参加が難しくなっており、ここ2年ほど実施していませんが、今後、同工展などに来館した方が参加できるようなイベントを考えられたらと思っています。

委 員：ありがとうございました。来年度のコレクション展でのワークショップを考えていらっしゃるということですので、親子で楽しめるものをお願いしたいと思います。
この年代層に美術館に慣れ親しんでもらうことが、芸術文化をさらに繋げてい

くの大きな要因となると思っています。この年代層にクローズアップした取り組みをさらに積極的に進めていただきたいと思います。

館長： コロナの影響で、ワークショップを開催する回数を減らしています。対面のイベントだけでは難しいということは館内でも話しており、デジタルを活用して、どのようにしたらリモートで美術館を楽しめるのか等、検討していきたいと思っています。いくつかは、YouTube等で配信しております。なかなか予算的に難しいこともありますが、工夫してやっていきたいと思っています。

会長： 他にありませんでしょうか。

他に質問がなければ、「令和4年度事業計画」について承認とさせていただきます。

次に、次第の報告事項2、「令和3年度事業報告（中間報告）」について、説明をお願いします。

館長： <「令和3年度事業計画（中間報告）」について説明… 館長、担当学芸員>

会長： 説明ありがとうございました。

「令和3年度事業計画（中間報告）」について、質問等がありましたらお願いします。

委員： 観覧者数の推計についてですが、香月泰男展は思ったより少ないと感じました。NHKの番組「日曜美術館」で紹介されるかと思いましたが、紹介されておらず残念でした。人気も評価もある作家ですし、もっと注目されても良い展覧会であると思っています。

館長： プレスリリースを行いました。メディアの反応はあまり良くなかったのが、厳しいと思っていました。しかし、展覧会が始まってみると思ったより多くの方に来ていただいていると、私は思っております。この時期は1年の中でも一番来館者数が少ない時期でもあり、20～30年前の香月泰男の人気があった頃と比べると、だいぶ変わってきていると感じています。来館者の年齢構成は基本的には想定どおりでしたが、このコロナ禍でも若い方が興味を持ちご覧になっているので、広報の仕方を工夫していかないといけないと思いました。

学芸員： 先ほど、「日曜美術館」のお話がありましたが、この展覧会は巡回展で、当館は4館目となります。この番組は通常巡回の初めの方で取り上げるため、最初の宮城県美術館で開催された際に放送されました。放送のタイミングはこちらでは何ともできない状況です。

また、図録の売り上げについては、一番です。

委員： それは、これまでの練馬区立美術館の図録の売り上げに対してということでしょうか。

学芸員： 巡回している美術館の中で、当館の販売数が一番多いということです。当館の

他の展覧会の図録売り上げ状況と比べてみても、かなり売れている部類に入り、人気と注目度を保っている図録と言えると思います。

委員：ありがとうございました。

会長：その他にいかがでしょうか。

他に質問がなければ、「令和3年度事業報告（中間報告）」について、承認とさせていただきます。

次に、次第の3「その他」に入ります。事務局から何かありますか。

課長：練馬区立美術館の再整備基本構想についてのご報告です。皆様にご覧いただいた後、区議会に報告し、さらにその後、区民の方にご意見を伺う機会がございました。区民の方からは全部で22件延べ75件のご意見をいただきました。ご意見を踏まえ、再整備基本構想案を区議会に報告しており、その後、正式に再整備基本構想を策定していきたいと考えております。完成いたしましたら、委員の皆様にもご覧いただきたいと思っております。

また、美術館再整備に向けて、専任の部署を立ち上げる予定です。美術館と美術館を取り巻く中村橋周辺のまちづくりを含め、新しい部署を立ち上げて取り組んでまいります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

会長：事務局の報告について質問等がありましたらお願いいたします。

委員：再整備については、この会議は詮議の場ではないと思いますが、区民の支持を得ているのだろうかといささか懸念があります。区民の方から、再整備について費用がかかりすぎるのではないか、広くしすぎるのではないかという意見を伺いました。区と美術館は区民に対して、意見を求めるような努力を重ねていく必要があると思います。1人の観客としての意見を申し上げると、個人的にはギャラリーが広がることにはあまり賛成ではありません。広くしすぎないというやり方もあると思います。その辺も考えていただければと思います。区民の理解を求める努力をよろしくお願いいたします。

課長：様々なご意見があることは承知しております。パブリックコメントで区民の方からご意見を伺っており、期待も大きいところです。今後は設計等に入っていきますので、諸室・機能についても検討しながら進めていきたいと考えております。区民の方・関係者の方にも丁寧にご説明をしながら進めていきたいと思っております。

会長：他にいかがでしょうか。

他に質問がなければ、以上で令和3年度第2回美術館運営協議会を終了いたします。本日はご協力ありがとうございました。